

寄せ植え教室
in
富士公園・長生の森公園

まちづくり情報センターでは、まちづくり体験教室を開催しています。
令和6年度は、`クリスマス 寄せ植え教室`を県内2か所で開催しました。
小学生から大人まで、寄せ植え技術の習得と参加者同士が触れ合いながら、
身近にある花と緑を通してまちづくりを体験していただきました。





花材の紹介



シルバー等の花材を大目に使った、シックな寄せ植えです。

① エレモフィラ "ホイップクリーム"



ゴマノハグサ科 半耐寒性常緑低木
開花期：3月～6月
特徴：加湿に弱いため、乾燥気味に管理します。

② ガーデンシクラメン



サクラソウ科 球根
開花期：10月～3月
特徴：耐寒性があり戸外で育てられますが、霜などに注意します。

③ チェッカーベリー



ツツジ科（酸性土壌） 常緑小低木
開花期：6月～7月（実は11月頃～）
特徴：日当たりを好み、加湿は苦手です。

④ カロケファルス "プラチーナ"



キク科 常緑小低木
特徴：日当たりを好み、加湿は苦手です。

⑤ シロタエギク "ニールツク"



キク科 耐寒性多年草
特徴：乾燥気味の日当たりの良い場所を好みます。



道具

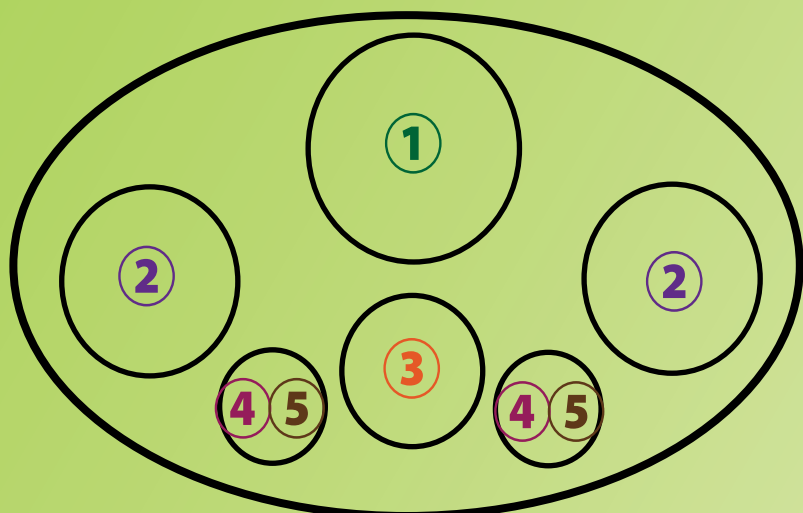


道具も揃えましょう。

- ・鉢
- ・鉢底ネット
- ・培養土
- ・肥料
- ・土入れ
- ・割り箸

配置と完成鉢

花材を左図のように鉢植えに配置します。



正面



作り方

準備

鉢底の穴に鉢底ネットを張り、鉢の半分くらいまで培養土を入れたところに肥料を加え、鉢底ネットがずれないように培養土と肥料をしっかりと混ぜます。



① エレモフィラ "ホイップクリーム"

ポットを抜くとき、根元を傷めないように人差し指と中指で茎の軸をしっかり挟んだら、引っ張らずにポットを逆さにして抜きます。



茎周りのコケを除きながら、肩土を削って手で肩にし、根が巻いてるようであれば軽くほぐしてあげると水分や栄養分の吸収が促進されます。

肩土の表面が鉢の縁 2 cm くらい低い位置（ウォータースペース）になるよう土を入れて高さを調節し、エレモフィラの正面を決めて配置図①部分にセットします。



② ガーデンシクラメン

根部分をポットの上から軽くもんで緩めると、逆さにしただけでポットから抜くことができます。黄色くなった葉や咲き終わった花がついていたら、必ず取り除きましょう。

ガーデンシクラメンの正面部分を決めたら、配置図②部分にエレモフィラと同じ高さになるよう土で高さを調節して植えます。



③ チェッカーベリー

ポットから抜いたら、株表面のコケと黄色くなった葉を取り除きます。葉が取り除き難い時は、割り箸で表面を突くと取り除き易くなります。

チェッカーベリーは高さが低いため、エレモフィラやガーデンシクラメンと同じ高さになるまで土を足して高さを調節し、チェッカーベリーの正面を決めたら配置図③部分に植えます。



④ カロケファルス " プラチーナ " ⑤ シロタエギク " ニュールック "

どちらも株分けをして使います。

ポットから抜いたらコケを削り、株と株の真ん中に親指を入れて優しく揺らしながら、少しずつゆっくりと割って株分けします。特にプラチーナは茎の上部分が絡まっているため、切れてしまわないよう揺らして絡まりをほどこす。

株分けしたシロタエギクとプラチーナを組み合わせ、配置図④・⑤部分2箇所に植えこみます。



仕上げ

最後に、割りばしを使って空いている隙間に土を入れて埋めていきます。特に隙間を埋めにくい根と根の間は、少しずつ土を加え、株の正面がずれてしまわないよう抑えながら割りばしを左右に振るようを使って隙間を埋めていきます。

鉢の中心部分や正面側もしっかり埋めましょう。